

終わるまで舞踏



ピノキーの夜。ネオンと黄金の灯が、
夢幻の都を静かに照らしている。
遥か彼方には、「ホテル・レバリー」が静かに佇む。
紫紺の空の下、夢は今もなお続いていた。「ピノキーの夢は、決して終わらない。」



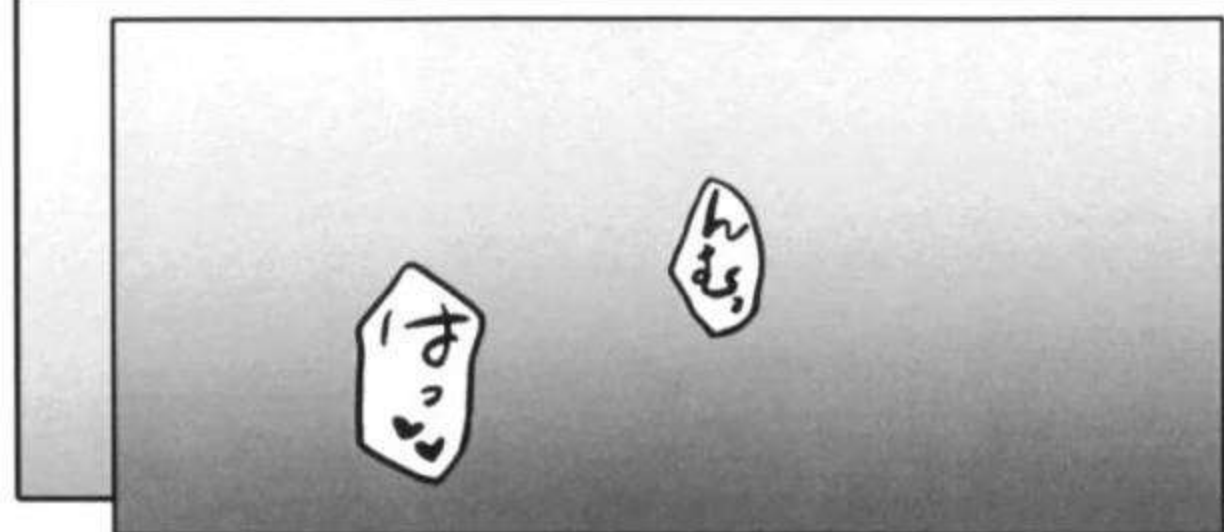


祭典は終わりを迎えても
まだ結末を知らない記憶がある限り
人は再びこの地へと戻ってくる。



ある者は、たった一人のために。彼女たちは忘れていない。
初めて共に踊った夜。
危険なほどに、互いを惹き寄せた、その引力を。



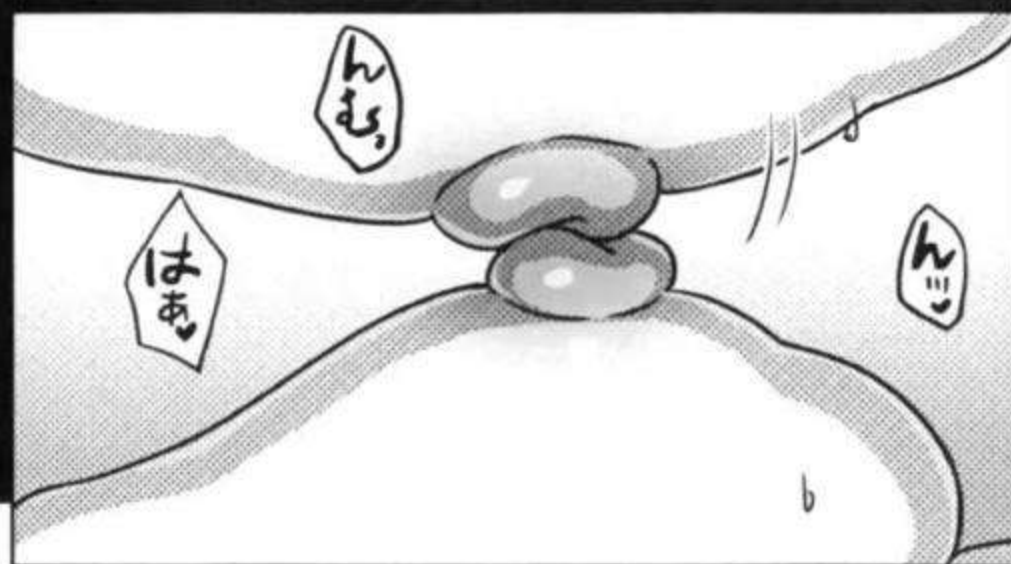
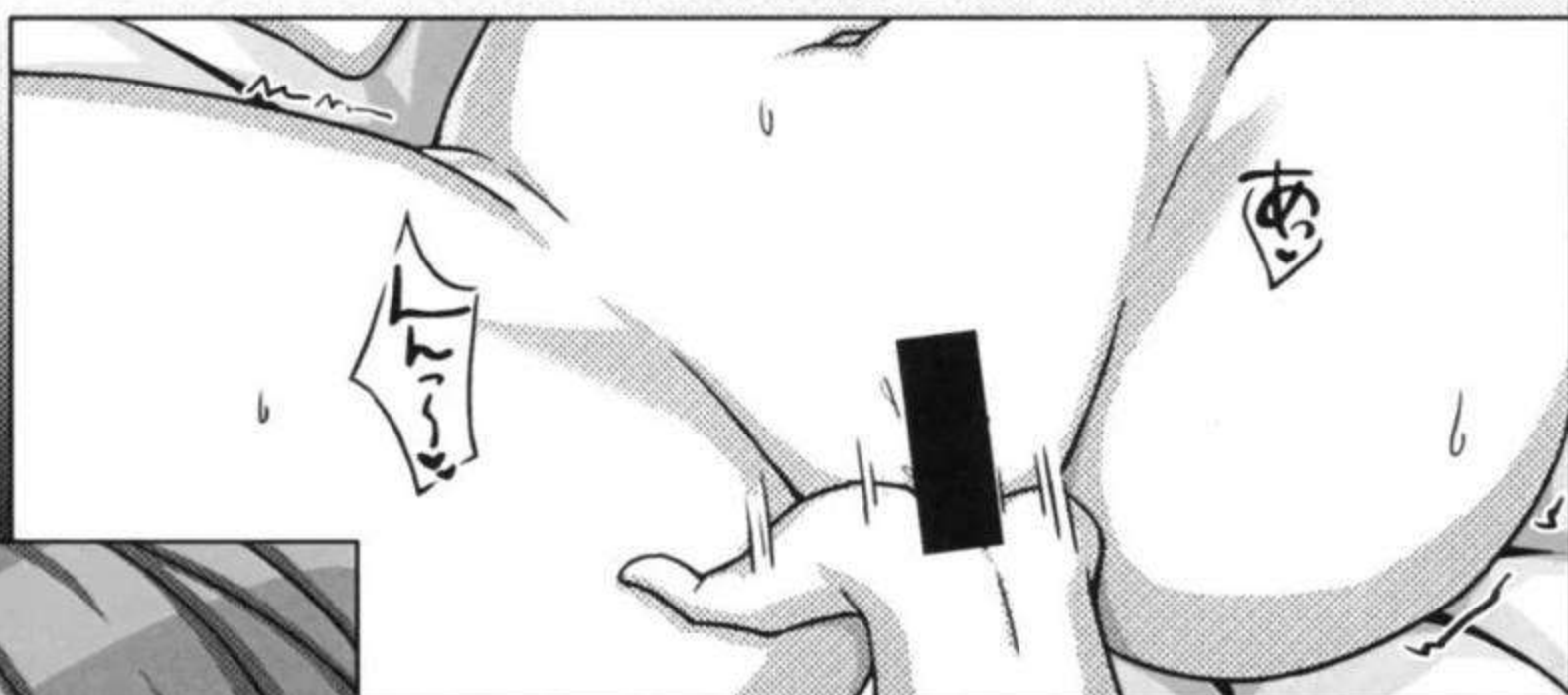


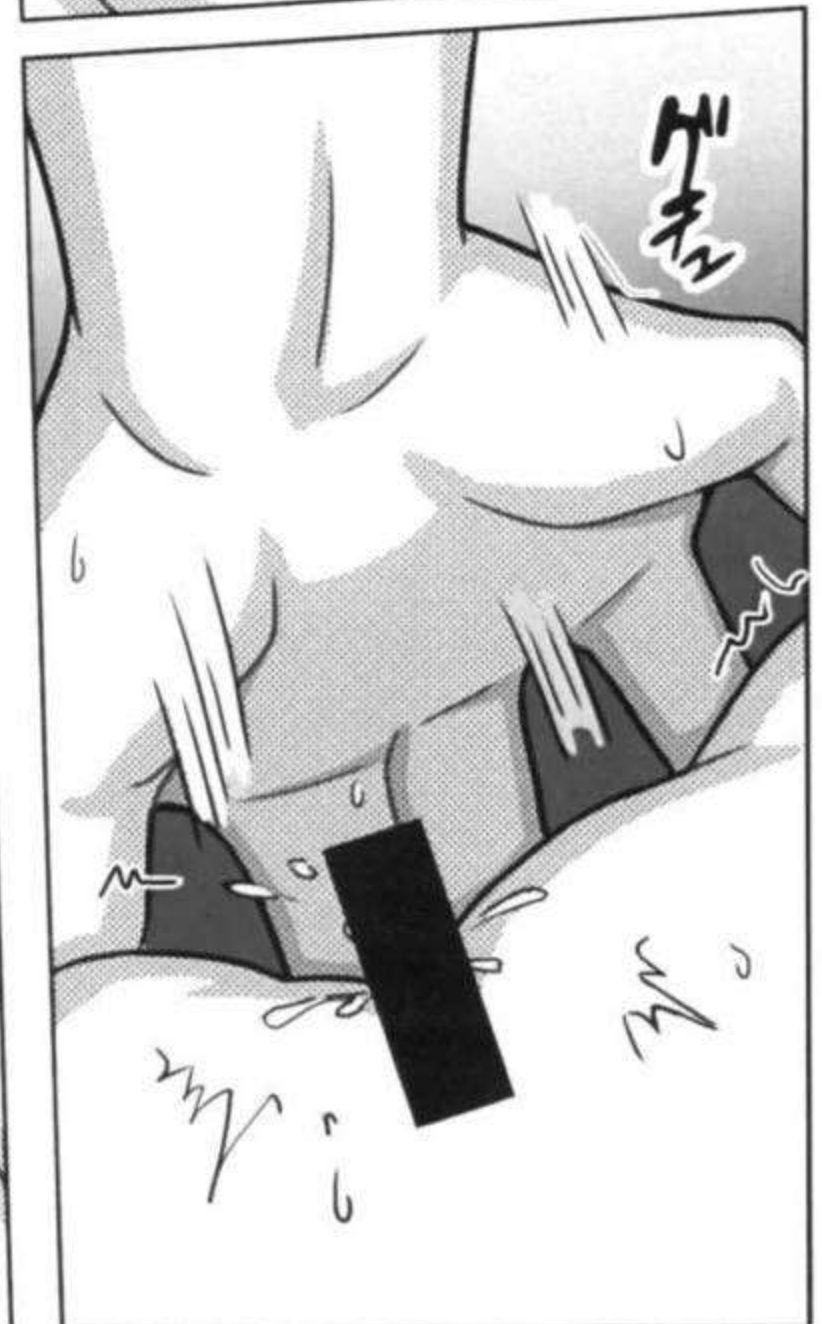


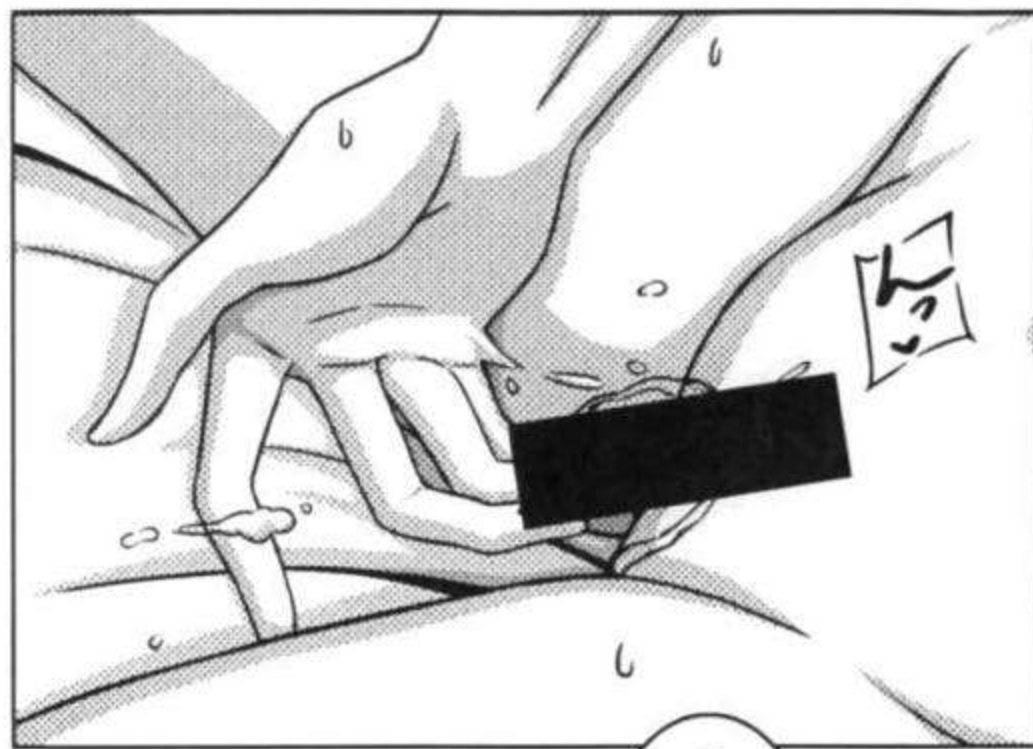








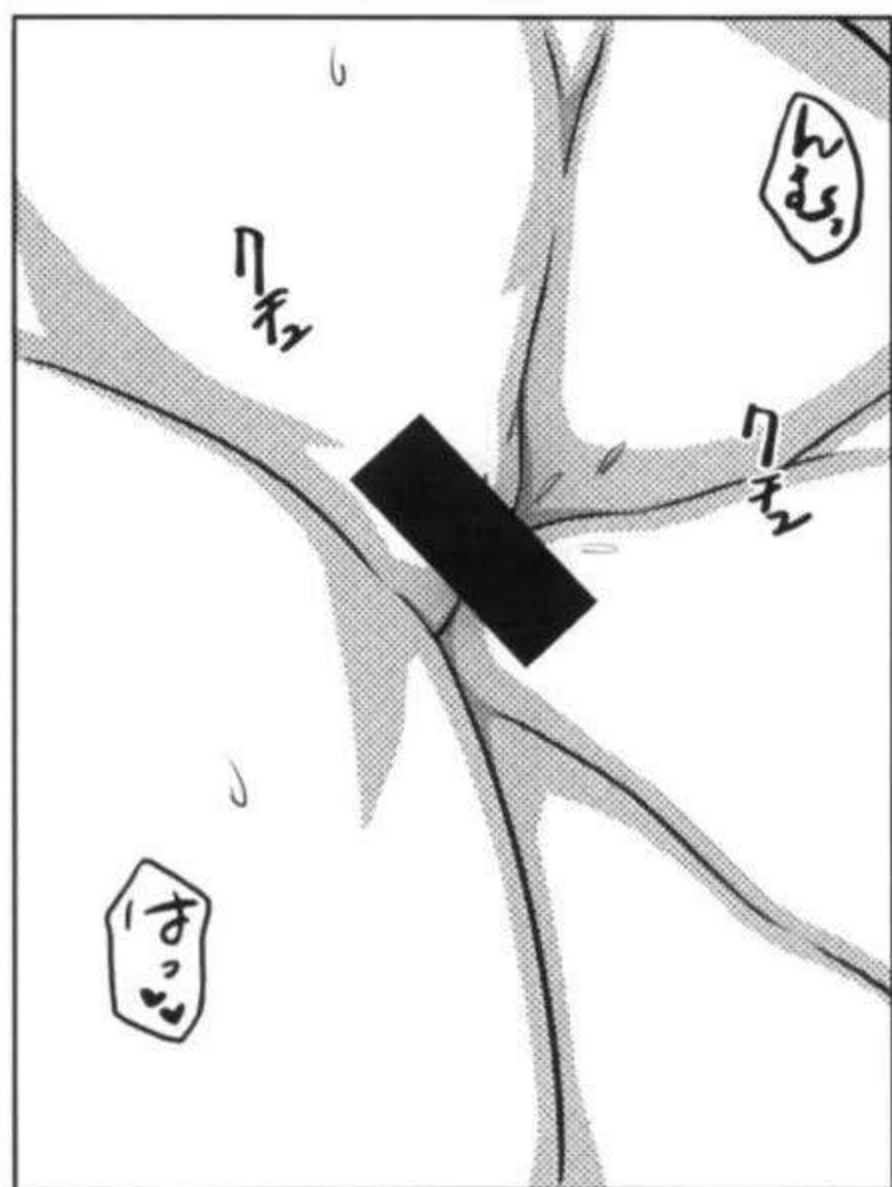






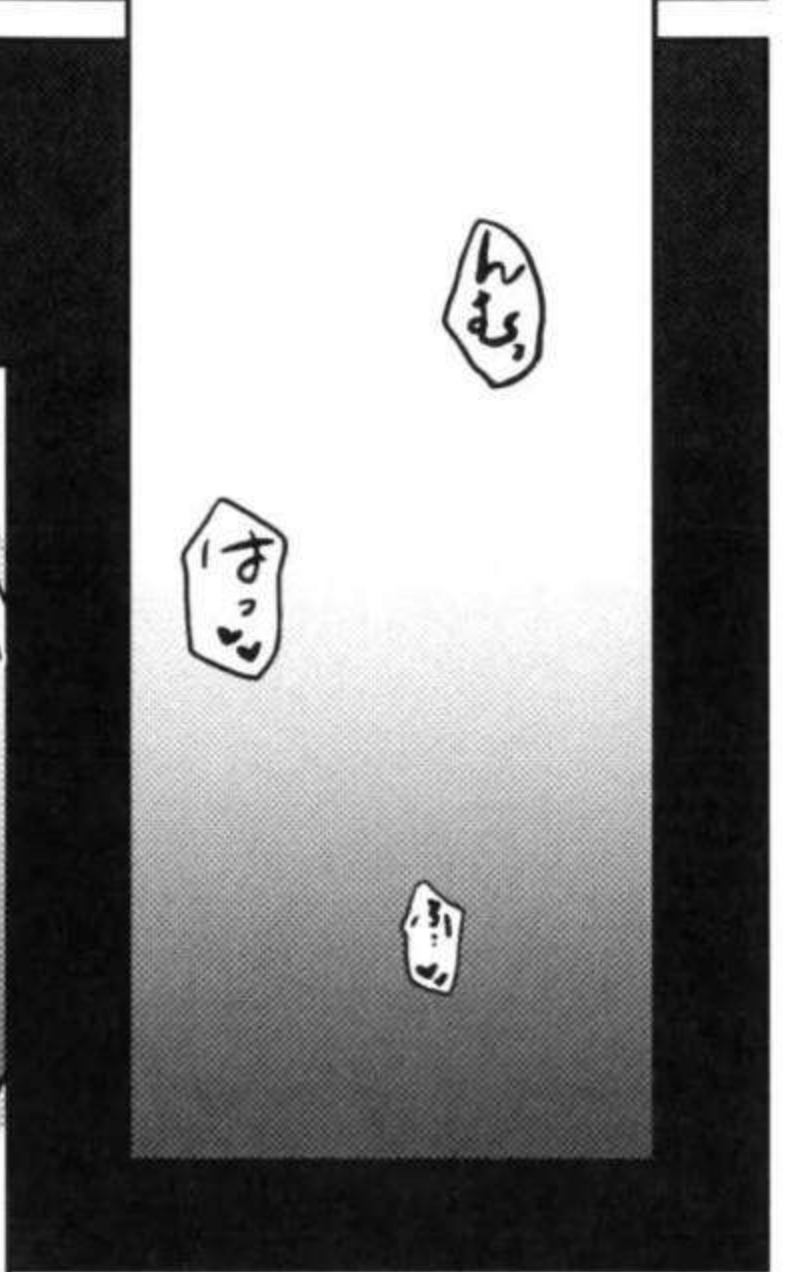
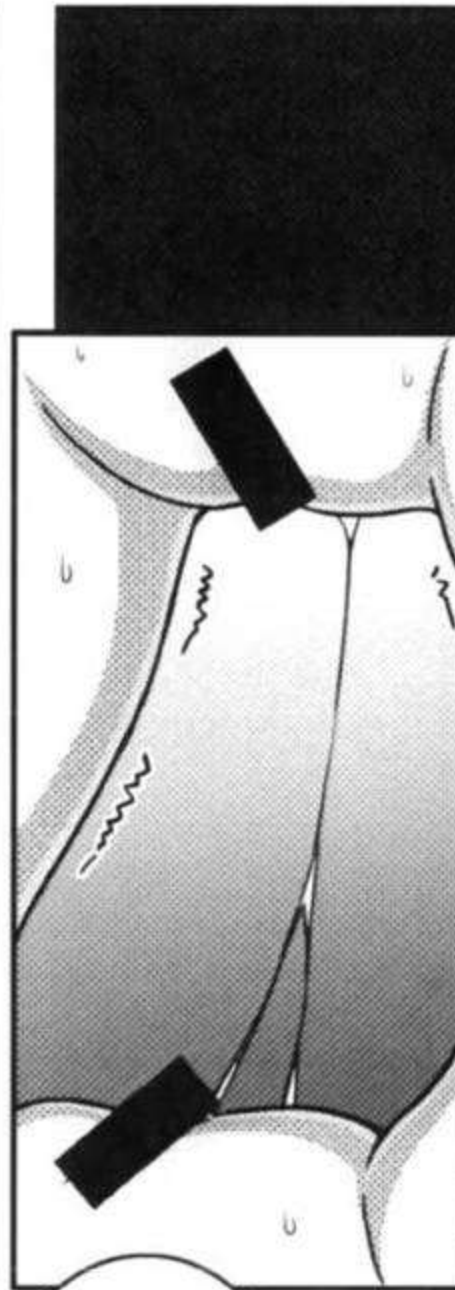








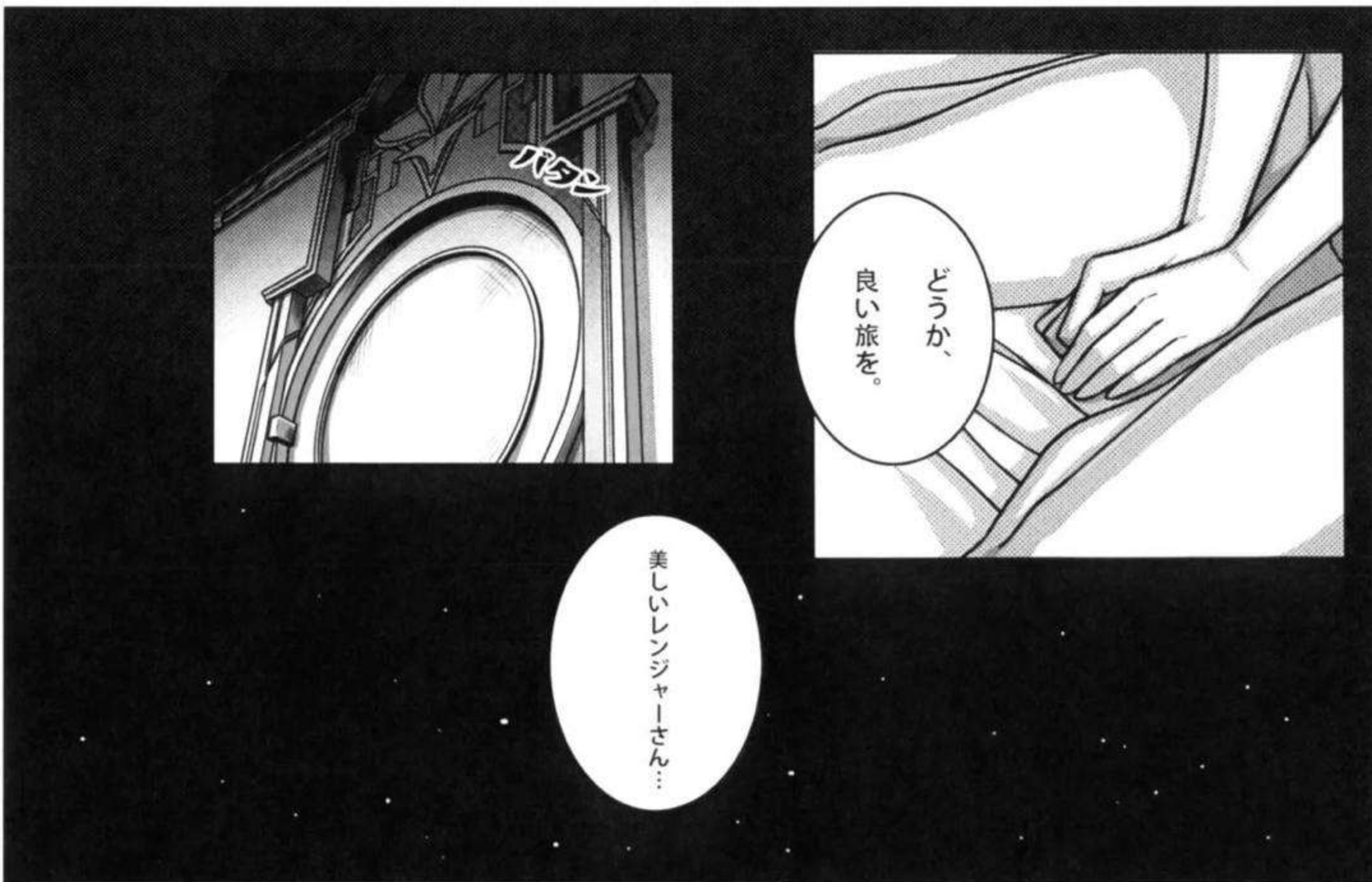












儼然と立ちまわっている。

彼女たちは、

再びそれぞれの運命へと歩み出していく。

それでも、いつの日か彼女たちは、

また巡り逢う。

終わなき舞踏

2026年8月15日 初版発行

著者: Nairobi

発行: 月明かりのアトリエ

印刷: 同人誌印刷ないろ堂

X: https://x.com/Nairobi_song

Mail: honghansong01@gmail.com

AGHERON・BLACK SWAN

ピノコニーでの物語が幕を閉じた後、
黄泉とブラックスワンは再び「ホテル・レバリー」で巡り合う。
かつて交わした一曲のダンスは、互いの心に深く刻まれ、
再び二人の運命を引き寄せた。

束の間の再会を経て、それぞれは再び己の運命へと歩み出す。

しかし、胸に刻まれたその記憶が色褪せることはない。
たとえ進む道が異なっても、いつの日か、二人はきっとまた巡り合う。

終わりにまき舞踏

Honkai Star Rail



ピノコニーでの物語が幕を閉じた後、

黄泉とブラックスワンは再び「ホテル・レバリー」で巡り合う。

かつて交わした一曲のダンスは、互いの心に深く刻まれ、

再び二人の運命を引き寄せた。

束の間の再会を経て、それぞれは再び己の運命へと歩み出す。

しかし、胸に刻まれたその記憶が色褪せることはない。

たとえ進む道が異なっても、いつの日か、二人はきっとまた巡り合う。